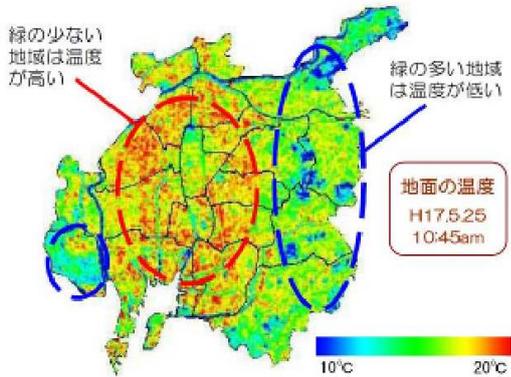


新しい市民参画の街づくりをめざして

～市民協働調査の可能性とこれから～



出典:名古屋市資料

2015
10.25(日)

13:00-16:20

名古屋市立大学北千種キャンパス
(千種区北千種 2-1-10)

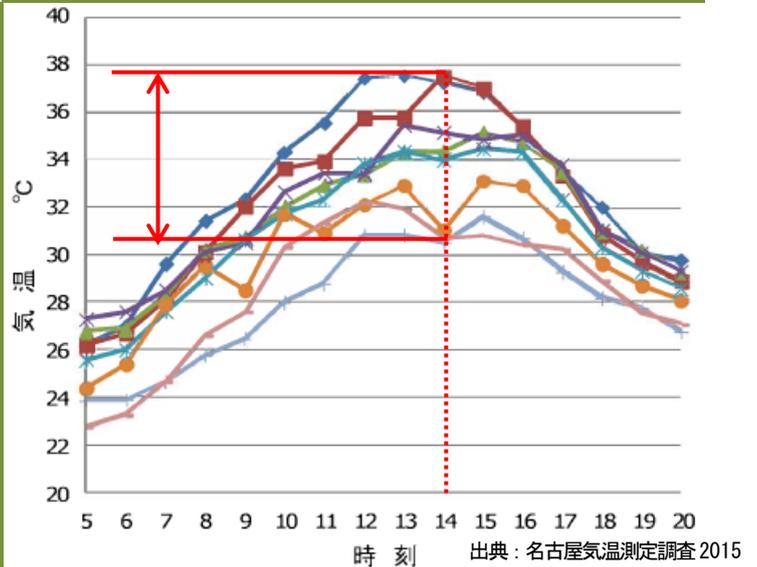
入場無料

(申込みなし、定員 100 名程度)

開催趣旨

自らの住む街の環境を市民らの手と足と目で客観的に知る意義は大きい。名古屋市民気温測定調査や生物調査、森の健康診断など行政、専門家も加わり市民主体の「市民協働調査」が数多く行われてきた。

そこで今回 10 年ぶりに行われた「名古屋気温測定調査 2015」の結果も含め、今まで行われてきた生物調査などの「街の健康診断」や「森の健康診断」の事例を通して市民協働調査の可能性とこれからの追求することによって、新しい市民参画の街づくりを模索する。



講演

13:30~14:10

「都市のヒートアイランドと
市民気温測定調査そしてその意義」
堀越哲美さん (愛知産業大学長)

話題提供

14:10~14:40

「なごや生き物一斉調査の現状と課題」
滝川正子さん (NPO なごや東山の森づくりの会理事長)

14:40~15:10

「森の健康診断 10 年を振り返る」
丹羽健司さん (森の健康診断出前隊代表)

休憩

パネルディスカッション

15:20~16:20

上記 3 人に加え、コーディネーターに
岡村穰さん (名古屋市立大学教授)

問合せ先 名市大 岡村 (dra@sda.nagooya-cu.ac.jp)

会場までのアクセスマップ

